

評価基準書

区分	記載項目	評価の視点	評価得点 最低水準点
(1) 執行体制	執行体制について	技術者の役割分担が明瞭で、業務従事者間及び市との連絡調整が速やかに行える信頼性の高い体制となっているか。 相応の能力を有する技術者が配置され、本業務に適正に従事できるか。	20 8
	業務実績	同種・類似業務の実績が豊富で、高い企画力・専門性・独創性を生かした成果をあげているか。	
(2) 業務実施方針	業務理解度	本業務を実施するにあたって、目的、条件、内容等を理解しているか。	20 8
	実施方針の妥当性	本業務に対する考え方や認識が適切であり、それを踏まえた実施方針が妥当であるか。	
(3) 提案内容	調査手法について	紙主体の調査ではなく、オンライン等のデジタル技術を主体とした調査方法を行うことで、業務費低減につながる工夫をしているか。	30 12
	回答のしやすさについて	調査票やオンラインの回答システムについて、回答のしやすさを考慮した工夫がみられるか。	30 12
	調査結果の拡大・補正について	ビッグデータや既存データ等を活用した多様なデータを組み合わせる等、新たな発想により調査結果の拡大、補正手法の具体的な方針を検討しているか。	40 16
(4) 価格	履行期間の委託料の総額 (消費税及び地方消費税を含む。)	(1 - 提案額 / 提案限度価格) × 60点【小数点以下切捨て】	60
合 計			200